



Shibokusanpou

一隅を照らそう  
10月号

357号  
毎月28日発行



## 秋の気配

折りふしのはな

先日 ちょっと調子が悪くて  
一日中 寢てしまつた  
あつと言う間に  
脚の筋力が衰えた

## 日本人の魂

住職 中島 有淳

文化庁の「宗教年鑑」では、ほとんどの宗派を六つの系統に分類しています。このうち、「奈良仏教系」を除く五宗派は開祖によつて分けられ、現在、日本のお寺のほとんどはいづれかに分類されます。

○奈良仏教系……飛鳥時代から奈良時代にかけて誕生。東大寺、興福寺、薬師寺、唐招提寺など、奈良の古寺に伝わる。現在でも法相宗、華嚴宗、律宗などの教えが続いている。

○天台系……最澄より始まつた天台宗が中心。最澄は八〇四年、唐に渡り、天台山で中国天台宗の教えを伝授された。比叡山の延暦寺を總本山とし、全てのものが等しく仏に成ることができるという教えを広めた。密教、禪、大乗の戒律の要素を持つ。

○真言系……空海より始まつた真言宗が中心。最澄と同じく、八四年に唐へ渡り、長安で密教を学んだ。帰国後、日本における密教の第一人者として真言宗の開祖に。高野山の金剛峯寺を總本山とし、現在のこの身のままで仏になれるという「即身成仏」の教えを説いた。

○浄土系……法然や親鸞、一遍らにより、始まつた宗派。法然は「南無阿弥陀仏」と称えれば極楽往生できるとする浄土宗を開いた。また、親鸞は自らの身をいつさい仏にゆだねるという「他力」の立場を説き浄土真宗を開いた。そのほか、一遍は「南無阿彌陀仏」と称えれば救われるという時宗を開き、良忍は念佛を称えることが善行の根本であるとする融通念佛宗を開いた。

○禪系……禪の教えに基づく諸宗派。鎌倉時代、宋に渡つた榮西は坐禪や禪問答を行う臨済宗を開き、また、同じく宋で学んだ道元は、只管打坐（ただひたすら坐禅すること）を大切にする曹洞宗を開いた。さらに、江戸時代中国から来日した隱元は、坐禪と念仏を合わせて行う黄檗宗を開いた。

○日蓮系……日蓮によって始まつた日蓮宗が中心。鎌倉時代、日蓮は法華經を基本とし、「南無妙法蓮華經」と題目を唱えることによつて現世で救われると説いた。

(公財) 仏教伝道協会 発行 「とってもやさしいはじめての仏教」より引用

日本人は、自分の仏教を「何宗です」と明言し、その教えまで説明できる人は少ないものです。それでも、宗教の持つ神秘的・精神的な世界を大切にし、それによつて感謝や思いやりの心を大切にしていました。

有名な聖徳太子は仏教に帰依され、「篤く三宝を敬え」と述べられ、そこに日本人の精神世界と国づくりを願われました。

太子の「和を以て貴しと為す」の言葉は日本人の精神的ふるさとなのです。

### <今月の予定> 各々申込・詳細は副住職へ

月例行事案内	
◎八 日 午後二時	薬師如来祈縛会 観音經読誦
◎十二日 午後二時	智泉院法要日（於・日本橋茅場町）
◎十八日 午後二時	觀音經讀誦法要（於・神木觀音堂）
◎二十八日 午後二時	不動明王護摩供修行
□祝・七五三お詣り	（予約受付中）
*御札・御守り授与します	
*毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております	
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ	
どなたさまでも ご参詣下さい	

10/14(土) ※要事前申込 (¥500)  
9:30-10:30 「止観（坐禅）会」

